

ハリシビースロックZ取扱説明書

取扱事故防止のため下記事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ハリシビースロックZの動画が見られます！
詳しくはこちら →
(QRコードを読み取ってください)

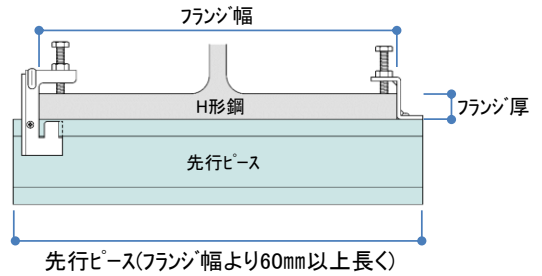


動画用QRコード

【前準備】

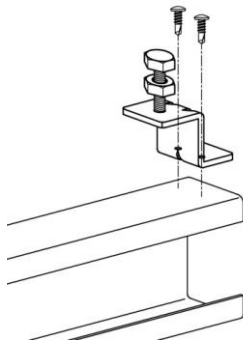
- ・先行ピース(C形鋼)は、取り付けるH形鋼のフランジ幅より60mm以上長いものを用意する。(両端に30mmずつ)
- ・ハリシビースロックZは、取り付けるH形鋼のフランジ厚によって3タイプから選択する。

フランジ厚	～20mm	20～40mm	40～60mm
適合	20タイプ	40タイプ	60タイプ
先行ピース	C-60～C-100の形鋼(共通)		

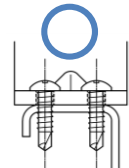


【取り付け手順】

1. 金具の取り付け H形鋼のフランジ幅より60mm長く切断した先行ピースの先端部(下図参照)にハリシビースロックZをねじ止めする。(注！必ず下図の向きで取り付けすること。)

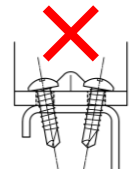


取り付けにはドリルねじ 5x19mm以上を使用すること

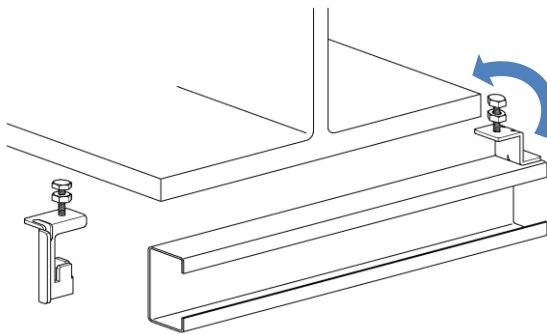


⚠ 極端な斜め打ちは厳禁！

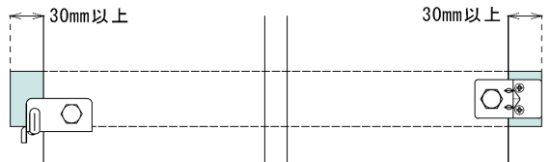
ねじ頭が飛ぶ原因になる為注意！



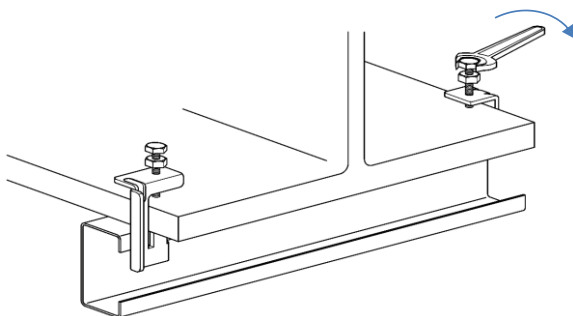
2. 仮締め ハリシビースロックZを取り付けた側をH形鋼に掛け、対面側にハリシビースロックZを取り付けて、締付ボルトの先端がH鋼フランジ面に当たるまで軽く仮締めする。(先行ピースはフランジから両端30mm以上出すこと。)



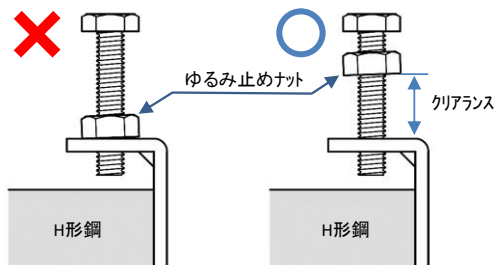
上から見た取付状態



3. 締め付け その後規定の締め付トルクでボルトを締め込む事によりカタログの表示強度まで到達する。(仮締め後 1～1.5回転程度)

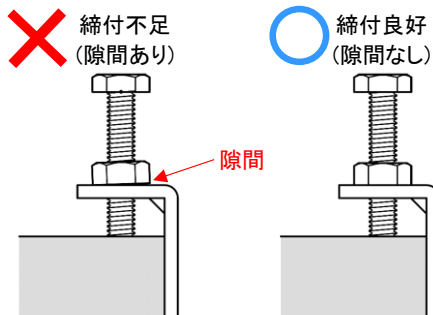


締め付け時にゆるみ止めナットが本体に当たってしまうと規定の締め付トルクを得られない為、十分にクリアランスをとること。



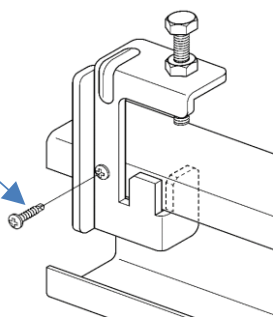
4.緩み止め 所定の強度で締め込んだ後、ゆるみ止めナットを本体トップ部に当るまで手で仮締めし、スパナ等で確実に締め付ける(1/8回転~1/4回転程度)。金具本体とナットの間に隙間が無い事を確認すること。

ゆるみ止めナットを1/8回転~1/4回転締める



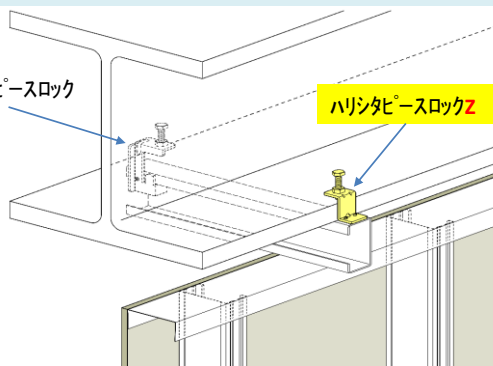
5.ねじ止め 最後にハリタビースロックのねじ孔から先行ピースのリップ部にねじ止めて完成。(ドリルねじ 5x19mm以上を使用すること)

ドリルねじ 5x19mm



ハリタビースロック

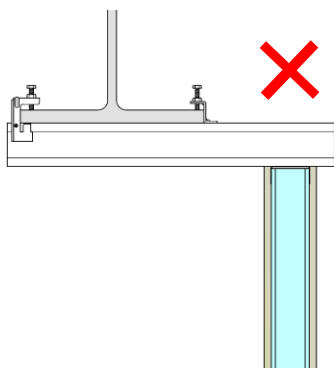
ハリタビースロックZ



⚠ 以下の施工には使用不可

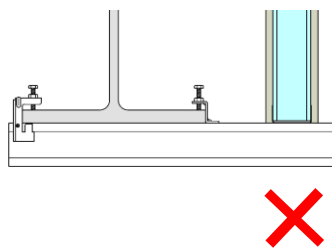
■H鋼フランジからのね出し

「ハネダシサポート」を使用すること

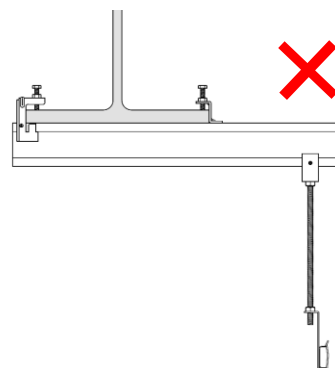


■重力が働く取り付け方

先行ピースの上に間仕切り



先行ピースの下(片側)に吊り元を設ける



⚠ 施工上の注意事項

- 1.先行ピースを取り付けるH形鋼との接触面や金具の締めホルトを取り付けるフランジ周辺に凹凸やごみが無い事を確認してください。(金具・先行ピースの傾きや取り付け強度不足の原因になります。)
- 2.金具とH形鋼の間に隙間が出来ないように取り付けてください。
- 3.締め付け過ぎには十分に注意してください。締め付け過ぎるとホルト及び本体に変形が生じます。変形すると十分な性能が発揮出来ませんので万が一締め付け過ぎた場合はお取り替えください。
- 4.締め付トルクを確認する場合は、必ずゆるみ止めナットを締め付ける前に行ってください。
- 5.ハリタビースロックの取り付け詳細については、カタログ又は「ハリタビースロック 標準施工要領書」をご覧ください。